

令和4年度 就学援助費交付申請書（兼委任状）

早島町教育委員会 殿
（經由：早島町立早島 学校長）

令和 年 月 日

認定にあたっては、早島町教育委員会が必要に応じ、住民基本台帳又は町民税課税台帳等を閲覧すること、児童扶養手当受給状況等、公営住宅居住者家賃等を照会すること、また、認定された場合、その請求及び受領等については学校長に委任することに同意し、就学援助費の交付を申請します。

| | | | | | | |
|---------------------------|------------------------------------|-------------|------|-----------------|------|-----------|
| 現住所 | 早島町 | | | | | |
| 保護者氏名 | | | | TEL | | |
| 学校名 | 早島町立 | | | | | |
| 児童・生徒氏名（本人） | | | | 学年 | 年生 | |
| | | | | 学年 | 年生 | |
| | | | | 学年 | 年生 | |
| 世帯欄 （保護者・本人を含む） | 氏名 | 続柄 | 生年月日 | 職業（勤務先）又は学校名・学年 | 同居別居 | 病気又は療養の有無 |
| | | | ・ | | | |
| | | | ・ | | | |
| | | | ・ | | | |
| | | | ・ | | | |
| | | | ・ | | | |
| | | | ・ | | | |
| | | | ・ | | | |
| 住居の状況（該当に○） | (1) 持家 (2) 借家 (3) 公営住宅 (4) その他 () | | | | | |
| 援助を受けたい理由 （裏面の該当番号を記入） | * | その他（特別な事情等） | | | | |

| | | |
|---------------|------------------|----|
| 金融機関名及び支店名 | 銀行 信用金庫 農協 | 支店 |
| フリガナ 口座名義人 | | |
| 預金種別 | 普通・当座 | |
| 口座番号 | | |

（注）学用品費、給食費等で学校へ未払い金等がある場合にはそれを精算し、残額を返金しますが、不足額があれば保護者の方へ別途請求させていただきます。

| | |
|-----------------|-------------------|
| 認定の適否 | 1 認定 (月認定) 2 不認定 |
| 認定理由 | |
| 異動状況（町教委・学校記入欄） | |
| 受付年月日 | ・ |

※裏面をよく読んで、太線の枠内に記入し、必要書類を添えて学校へ提出してください。

- (1) 申請書の書き方
- ・ 申請書は保護者が記入、押印してください。また、太線の枠内は必ず記入してください。
 - ・ 世帯欄は、申請時に生計を共にする人を全員記入してください。
 - ・ 学年は申請する年度の学年を正しく記入してください。
- (2) 申請の方法
- ・ お子さんの通学している学校へ提出してください。
 - ・ 添付書類は兄弟姉妹で学校をまたがって申請される場合、それぞれに添付してください。
- (3) 申請理由
- ・ 次のいずれかの理由のうち該当する番号を、援助を受けたい理由欄に記入してください。

| 番号* | 申 請 理 由 | 添付する書類 |
|-----|---|-----------------------------------|
| ① | 教育扶助以外の扶助（生活・住宅・生業等）を受けている。 （現在教育扶助を受けている方は申請の必要はありません。） | |
| ② | 生活保護が廃止又は停止になっているが、なお生活が苦しく学用品費等の支払いに困っている。 | |
| ③ | 町民税の所得割が非課税である、若しくは減免となっている。 | |
| ④ | 個人事業税が減免になっている。 | |
| ⑤ | 国民年金の掛金が免除となっている。 | 国民年金保険料免除申請承認通知書の写し |
| ⑥ | 児童扶養手当の支給を受けている。 （ひとり親世帯又は両親のいない児童・生徒に支給される手当のことです。） | 児童扶養手当の証書の写し |
| ⑦ | 生活福祉資金の貸付を受けている。 | 生活福祉資金貸付決定通知書の写し |
| ⑧ | その他経済的な理由によって児童・生徒が就学困難となる特別な事情がある。 | 保護者からの申出書（様式は問いません） 申請理由を証する書類 |

※保護者が、失業、離婚、死亡、災害にあったため生計が急変した場合は、学校又は教育委員会で指示する書類を提出してください。